

議事録 兼 報告書

| | |
|--|--------------------------|
| 会議名称 | 伊那市上下水道事業運営審議会 |
| 日 時 | 令和5年3月16日（木） 10:30～11:35 |
| 場 所 | 庁議室 |
| 議 事 内 容 | |
| <p>(進行 水道部長)</p> <p>1 開会のことば 水道部長</p> <p>2 委嘱書交付 ・新型コロナウイルス感染防止のため机上配布</p> <p>3 あいさつ 副市長</p> <p>4 自己紹介 ・審議会委員自己紹介 ・関係職員自己紹介 ・伊那市上下水道事業運営審議会条例の要旨説明</p> <p>5 会議事項（(2)から議長 会長）</p> <p>(1) 正副会長の選任について 委員から、事務局に一任したいとの発言があり、水道部長から事務局案を提案、委員の承認により決定しました。 ・会 長 岡野 哲郎 氏 ・副会長 駒井 啓晃 氏 ・正副会長就任あいさつ</p> <p>(2) 水道事業及び下水道事業経営健全化計画について ・資料により事務局説明 ・質疑討論</p> <p>(会 長) 水道事業と下水道事業の現状や課題、また現在の取組について説明をいただきました。今日は何かを決める会議ではありませんが、上・下水道ともに非常に厳しい状況にあるということをご理解いただけたかと思えます。市民にとって最も基本となるインフラですので、質を落とさずに経営の健全化を進めなければならないというところに難しさがあると思えます。特に、人口減少に伴い事業収益が減少していく中で、よ</p> | |

り合理性・効率性を高めていくためには、施設の改修も必要になりますし、またそれに伴い必要となる資金をどのようにやりくりするのかなど、難しい課題だと思います。ここ数年は、無駄を省くということに特に取り組まれていますので、更に削れる部分があるのか、という気もしますが、特に下水道に関しては、今後施設の改修などが増えてきますし、施設が分散している中で、整理・統合を順次進めていくということですけれども、統合するためには予算が必要になりますが、長い目でみるとやるべきことはやっていく必要があるのかなと思います。

水道事業で有収率を高めるということが、一つの対策として出てきますが、具体的にどのような取組をするのが、もう少し教えていただけますか。

(事務局) 水道事業では、ロスを無くすということが重要になります。今やっている対策としては、検針員が漏水を判定するハンディの機器を持ち歩き、検針時にその機器を使って、漏水の疑いがある箇所の情報を持ち帰ります。その情報を基に職員が確認を行い、漏水箇所を特定したうえで、改修を行うということをやっています。地道な作業であり、毎年少しずつではありますが、徐々に有収率は向上してきています。

(委員) 下水道事業の中で「水洗化率の向上」とあります。県内他市と比べるとまだ低いということでしたが、市内には未整備の地区がまだあるのでしょうか。

(事務局) 計画区域の整備は、令和2年度までに概ね完了しております。あとは農地を宅地に転用した場合など、個別のケースになります。法律上は、供用開始を宣言すると下水道接続は義務ということになります。ただ、ご家庭の事情ですぐに排水設備などを設置できないという場合は、一定の要件の下で期限を延長するという場合もあります。

(委員) 近所には、まだ下水道に接続していない家が多くありますが、市内の下水道整備は全て完了しているということでしょうか。未接続の方が今後接続しようとする場合は、個人で整備していくということになりますか。以前に農地へ生活排水が流入している箇所があり、市の担当者の方へ現地確認をお願いするなど、対応に非常に困ったということがありました。

(事務局) 本管の整備後、供用開始が宣言されると接続の義務が発生します。ただ今のお話は、詳細な状況まで分かりかねますが、整備区域内にも関わらず接続されていないということであると、何らかの理由で期限を延長しているのだと思われます。いずれにしても、未接続の場合は、こちらでも該当者を把握していますし、事情がある場合は、猶予期間を設けた上で接続をお願いしていくというスタンスは変わらないです。市内には合併浄化槽で対応している区域もありますが、本管が整備されており、接続できる区域内ということであれば、こちらで対応を取らせていただくということになります。

(会長) 下水道は環境を良い状態で維持していくための基本です。これから温暖化が進むとどのような菌が蔓延るか分かりませんので、市の担当部局でご努力いただきたいと思っています。

(3) 令和5年度水道事業及び下水道事業会計予算の概要について

・資料により事務局説明

・質疑討論

(会 長) 個々の事業について、予算額がどうこうということは無いと思いますが、図で示していただいた資料は、全体を把握しやすかったと思います。営業外収益の大部分は一般会計からの繰入ということであり、また、水道事業に比べ下水道事業の営業外費用の割合が多く、これは企業債の償還利息になるかと思いますが、こうした費用を減らしていくということが今後の課題になっていくと思います。また、人口減少により収益が減ってくる中で、他会計から補助金を組み込みながら黒字を出していく、というのが主な予算の組み立てであるのご理解いただけたのではないかと思います。今回の資料は単年度の比較のみですが、中長期的な視点に立ったときに、計画した内容が達成される内容となっているのかどうか、例えば、企業債残高は、計画どおり減っているのかという内容の検証結果などをこのような機会の時にご説明いただくと分かりやすいのかなと思います。分かり難い部分がありましたら、次回の会議で補足してもらうことでもよろしいかと思いますが、皆さんのご意見はいかがでしょうか。

この審議会は、中長期的な視点に立って、事業経営が健全かどうかを議論していくことが一番の役割だと思いますので、委員の理解が深まるような資料の作成を事務局へはお願いしたいと思います。本日説明していただいた数字がベースになっているということは間違いのないことですので、委員の皆様には、こうした内容に基づいて中長期的視点からご意見をいただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

(4) その他

(委 員) この審議会は、年間にどの程度の会議が行われるのか教えていただけますか。

(事務局) 概ね、年に2回程度となります。次回は7月に開催を予定しており、令和4年度の決算の内容についてご説明をさせていただきます。料金等の改定の年になりますと、さらに1～2回多くの会議を開催させていただくこととなりますが、来年度につきましては、そうした予定はありません。

6 その他

・次回会議日程の確認（7月に開催予定）

7 閉会のことば

副会長

以 上